令和7年度 教育委員会事務局 盛岡教育事務所 経営計画

1 組織の基本目標

盛岡教育事務所は、これからの地域や社会を担っていく人材を育てるため、地域の学校教育及び社会教育・生涯学習を推進する組織です。

このことから、常に相手の立場に立って、誠心誠意業務を推進するとともに、管内8市町教育委員会と連携し、管内の教育振興に取り組みます。

今年度は、児童生徒一人ひとりに寄り添った心のサポート体制の充実に引き続き取り組むとともに、「いわての復興教育」の一層の推進に取り組みます。

特に、子どもたちの視点からの個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や、いじめ問題等への適切な対応など組織的な指導体制の一層の充実、学校・家庭・地域が協働する仕組みづくりの充実に取り組みます。

予測困難で変化の激しい社会の中で、児童生徒一人ひとりの夢の実現を支え、未来の創り手として育てていく学びを支えるために、幼保小中連携の推進、ICTを効果的に活用した学習の質の向上、健やかな体の育成、特別支援教育の充実、 教職員の働き方改革など児童生徒の学びの基盤づくりに向けた喫緊の教育課題に係る取組を推進します。

2 本年度の主要項目		内部統制の目的を達成するための年間取組目標			
【企画総務課】	① 小中学校事務職員の適正な事務処理の確立と資質の向上		年間取組目標 目標を達成するための具体的な方策		
	② 小中学校事務共同実施の		・法令、規則に則った適正な会計事務の執行と支払遅延の防止		美務の進捗状況を把握し、翌月以降の業
【教務課】	① 「社会に開かれた教育課② 誰一人取り残さない安全③ 学校経営体制の充実・強④ 教職員の資質向上への支⑤ 学校・家庭・地域の連携	・安心な居場所づくりへの支援 化への支援 援		・事業の実施にあたり所内の連携を	
	目指す姿、ゴール	 当該年度の達成レベル・目標	達成手段・方法(具体的取組)	第〇)四半期
項目(何を)	(中長期的な目標)	(いつまでに、どういう状態にするか)	(重要なプロセス・チェック方法等) 【庁内外の連携先】	取組実績	区 評価 分 区分がB・Cの場合: その要因(原因)
	に基づき適切かつ適正に執行されるよう、き め細かな指導及び助言に努めます。	○給与・旅費事務の条例等に基づいた適切な時期に適正な 処理を行い、誤りによる返納・追給や支給の遅れを減らします。 ○旅費の適正かつ計画的な執行のため、必要な調査及び進 捗管理を行います。 ○各種研修会の内容の工夫と充実を図ります。 ○新採用の事務職員が学校事務を理解し、業務を円滑に遂 行するための研修を実施します。 ○新採用事務職員等を対象とした支援の充実を図ります。	○事務状況調査の実施(7~11月) ○新採用事務職員等に対する定期的な事務支援の実施 ○共同実施組織の事務長等の意識高揚 ○給与・旅費に関する各種調査の実施 ○新採用事務職員の職場研修の実施(4~9月)【教職員課】		
	よる共同実施組織の推進体制の充実が図ら		○共同実施組織の訪問支援の実施○共同実施組織の充実に向けた先進地視察の実施○共同実施組織の総括等への事務処理等に関する情報提供		
	わての復興教育」の推進に向けて、「いわての 復興教育」プログラムと副読本の効果的な活 用に向けた取組を支援します。	進と、副読本を効果的に活用した復興教育の授業づくりに向けた取組を支援します。	○「いわての復興教育」の具現化に向けた学校の取組への支援(随時)○復興教育研修会の実施(8月)※キャリア教育と同日に「いわての『ひとづくり』研修会」として実施○「いわての復興教育」取組状況アンケート調査		
キャリア教育の充実					

T#1.4.244 0 # -	=*==++1m; L 755 AL 0-1 0 L L			
確かな学力の育成			〇各種事業の周知とSL講座(出前講座)等の希望調査の実施	
		課程の編成や教育活動の推進が図られるよう支援します。		
	研修会等を実施します。	〇「確かな学力育成プラン」に基づいた組織的・計画的な		
		取組の充実に向けた取り組みを支援します。		
		○校内研、各種研修等を通しICTを活用した学習活動の	- ・全国学力・学習状況調査(4 月)	
		充実を図るよう支援します。	・県学習定着度状況調査(10月)	
		○資質・能力の育成を目指したカリキュラム・マネジメン	・岩手県中学 1 年生英検 IBA (1 月)	
		トの推進が図られるよう支援します。	○家庭学習習慣や読書習慣の形成についての事例の紹介	
		○「授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている」と	(各種研修会で随時)	
		答える児童生徒の割合の増加に向け、「いわての授業づく	○学習指導要領の趣旨に応じた授業の周知徹底	
		り3つの視点」を踏まえた授業づくりの充実に向けた取組	授業カブラッシュアップ授業改善研修会(9~11月)	
		を支援します。(R7 年度 小87.0%・中89.2%)。	〇小中をつなぐ外国語教育推進研修会 (12月)	
		- ○「意欲をもって自ら進んで学ぼうとする」 児童生徒の割		
			○「令和の日本型学校教育」推進研修会Ⅰ(旧・研究主任	
		らの授業改善の取組を支援します。	研修会 (4月)	
		○温かい人間関係と学習規律を基盤とした学習手段の形		
			〇小学校低学年研修会(9月)	
		○学校の学びを踏まえ授業以外の学習に自立的に取り組		
		しむ児童生徒の割合の増加に向けた取組を支援します。		
		○「スタート・カリキュラム」の作成・活用と、幼保小中		
		○「ヘメード・カウイエラム」の下級・冶用と、場体が平 の連携推進が図られるよう支援します。		
豊かな心の育成		○「自己肯定感をもつ」児童生徒の割合(R7 年度 小 81.6%・		
豆かな心の月水		〇「日ご月足忍をも り」元重王促の制占 (1/1 年度 小61.0% 中84.6%) 、「人が困っているときは、進んで助けようと思		
		う」児童生徒の割合 (R7 年度 小 67%・中 65%) の増加に向		
	「二円「)(、合性争未、「「「修云寺を夫施しまり。 	け、道徳教育指導計画の整備と組織的推進体制の構築への		
		取組を支援します。	授業カブラッシュアップ事業(道徳)	
		○「考え、議論する道徳科」の授業を要とする道徳教育の		
		充実に向けた取組を支援します。 	(随時)	
健やかな体の育成	旧音と注の触らかたはの音ばに向け、胡士	 ○体力・運動能力標準以上の児童生徒の割合の増加に向け		
性でかる神の月以		○本分・運動能力標準以上の完重主張の割占の増加に同け た取組を支援します。(R7 年度 小男 68.6%・小女 73.5%・		
	関連付けた一体的な取組を組織全体で推進		〇地区別授業改善研修会(中)(11月)	
	_	〇運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合の		
	を支援します。	増加に向けた取組を支援します。(R7 年度 小中 92%)	・中学校訪問	
		〇朝食を毎日食べる児童生徒の割合の増加に向けた取組 たた短します。(87.5万年、b. 979.50年) 05.9(2)		
		を支援します。(R7 年度 小 97%・中 95%)	・活動量計・ボッチャの貸出	
			〇健やかな体の育成サポート訪問(体育担当、保健主事、栄 ************************************	
		けた取組を支援します。(R7 年度 小 85%・中 85%)	養教諭、養護教諭)(随時)	
			〇体力・運動能力調査、児童・生徒質問紙調査	
			各学校での調査実施(4月~7月)、	
			調査・分析作業(~12月)、学校等への報告(2月)	
			〇定期健康診断結果調査	
6 14 4: dv = 14			〇保健体育行政関係調査 〇名括志世の四紀	
		〇全ての学校で「引継ぎシート」を活用し、児童生徒の様		
		子や支援内容等を進学先に引き継ぐために、「いわて		
の充実		特別支援教育推進プラン」を踏まえた一人一人のニーズに		
			〇個別の指導計画・教育支援計画作成支援と教育支援委員	
	等を実施します。	の充実に向けた取組を支援します。(R7 年度 小中 100%)。	会への指導助言(随時)	

生徒指導の充実安全・安心な風土の醸成	実践上の視点を生かした学級・学年経営や、 社会性や協調性、自立心や自己指導能力を育 む教育活動の推進に向けて、研修会等を実施 します。 いじめ、不登校、問題行動等の未然防止や 危機管理体制の整備、組織的な対応強化に向	生徒指導の実践上の視点を生かし自己有用感を高める教育活動、学級・学年経営が推進するよう支援します。 (R7 年度 小85%・中87%) 〇社会性や協調性、自立心や自己指導能力をはぐくむ教育の推進が図られるよう支援します。 〇「いじめはいけないことだ」と思う児童生徒の割合の増加に向け、各学校において、「学校いじめ防止基本方針」の共通理解が図られ、実効性が高まるよう支援します。 (R7 年度 小100%・中100%) 〇スマートフォン等を使うときは、危険に巻き込まれる可能性等があることを理解している児童生徒の割合の増加に向け、情報モラル指導の充実に向けた取組を支援しま	○学級経営等の研修会の実施(SL講座等)(随時) ○「令和の日本型学校教育」推進研修会Ⅲ(生徒指導主事等対象)(9月) ○こころのサポート、カウンセリング講座の実施(随時) ○不登校児童生徒数・発生の要因分析と対策の協議・学校及び教委が行っている取組の交流(毎月) ○いじめ、問題行動等の状況把握と対策の協議(毎月) ○「令和の日本型学校教育」推進研修会Ⅲ(生徒指導主事等対象)(9月) ○学校訪問指導(SL講座)による情報モラル教育のサポートの実施(随時) ○在学青少年指導員が収集した生徒指導関係情報の交流とその対策検討(毎月)	
な学校経営の充実	校経営を推進します。	〇各中学校区の課題に応じた小·中連携の推進を支援します。	○地域とともにある学校づくり推進フォーラムの実施(6月) ○教育長会議、校長会議で、「コンプライアンス宣言」実施	
服務意識の高揚と	得て、家庭・地域社会と一体となった学校経営を推進するために、管理職の「コンプライアンス宣言」や「岩手モデル」作成に至った経緯を踏まえた取組を支援し、教職員一人一人の服務意識の高揚、不祥事案の発生ゼロを目指し取り組みます。	体となった服務意識の高揚を図ります。 〇全ての小中学校において、コンプライアンス確立の日を 設けるとともに、コンプライアンスに関する職場研修会を	の趣旨説明を行い、「体罰防止チェックシート」「コンプライアンス・チェックシート」「不祥事撲滅に向けた取組事例集」「交通違反事例集」「不祥事事案事例集」「懲戒処分等の標準処分例」等の配布物の活用依頼(4月)〇副校長研修会で取組状況の報告(7月)〇校長会議で取組成果の確認(11月)	
安全・安心な学校環境の整備	ることができるように、学校における様々な 事態を想定した具体的な危機管理マニュア ルの作成と、教職員への周知徹底及び訓練や 学習に取り組みます。	○各学校の危機管理マニュアルの内容を整備し、必要とする項目が具備され現実的かつ実際的なマニュアルとして活用できるものとなるよう支援します。 ○児童生徒が関係する危機的状況への対応について、迅速かつ適切な行動ができる能力や態度を育成できるよう、訓練や学習等の機会の充実に向けて支援します。	○副校長研修会で事例研究会の実施(7月) ○校長会議で取組成果の確認(11月)	
よる「教職員の指導	と役割を意識し、職務に応じた人材育成の推進に向けて、各種研修や指導助言に努めます。 「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」や「Plant (全国教員研修プラットフォーム)」を活用した人材育成の取組の支援を行います。	「Plant (全国教員研修プラットフォーム)」を活用した人材育成の取組を支援します。 〇〇JTによる校内研修体制の確立や人材育成の取組を支援します。 〇指導力不足教員等の指導力の改善に向けて、校内研修の実施を支援します。 〇初任者等の研修でメンタルヘルスや特別支援教育に関する講義を行い、精神面、指導面のサポートを通して指導	○各種研修事後アンケートによる、参加者の意識把握 ○「資質向上のためのセルフチェックシート」の活用 ○初任者に関する支援会議の定期開催と具体的な支援(通 年)	

関係機関と連携し 管内社会教育・生涯学習担当課と連携を図	○市町社会教育・生涯学習担当職員対象の会議・研修会の	〇市町社会教育・生涯学習担当職員対象の会議の開催	
た生涯学習の推進り、職員や団体等への支援や人材育成を通し	充実を図ります。	· 管内社会教育課長等会議 (年3回)	
て、学びの場の充実と学んだ成果を還元でき		· 管内社会教育係長等会議(年3回)	
る生涯学習社会の構築を目指します。		○社会教育・生涯学習関係事業についての学習情報の提供	
		と相談、人材育成のための学びの機会の提供、市町主催事業	
		への協力や支援	
		・資質向上研修(5月)	
		· 社会教育関係職員視察研修(9月)	
地域ぐるみで取り 学校・家庭・地域住民等の連携・協働によ	〇コミュニティ・スクールの導入や充実、学校・家庭・地	〇コミュニティ・スクールや教育振興運動・地域学校協働活	
組む教育の推進る、コミュニティ・スクールや教育振興運動・	域が一体となった学校運営を推進するため、研修会の開催	動の推進に係る支援	
地域学校協働活動、子どもの読書活動、子育	や情報提供の充実を図り、市町の取組を支援します。	・地域とともにある学校づくり推進フォーラム(6月)	
て・家庭教育支援の充実を図り、家庭や地域	(R7 年度 CS フォーラムの参加者全体評価平均値	・地域学校協働活動推進員(コーディネーター)地区別研修	
の教育力の向上を目指します。	3.8/4)	講座 (10月)	
		・地域学校協働連携・協働推進のための訪問支援(随時)	
		・導入・充実に係る情報提供(随時)	
	○「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合の増加を目指	○子どもの読書環境の整備と関係者の課題解決に係る支援	
	します。(R7 年度 小: 50%・中2: 83%)	・中・高等学校図書館担当者等研修会(7月)	
		・読書ボランティア等研修会(9月)	
		・子どもの読書活動推進会議(1月)	
		・おはなしの風キャラバン(6~11月)	
		·子どもの読書活動支援事業 (6~11月)	
		・岩手県子どもの読書状況調査(10月)	
	○子育で・家庭教育支援関係者のスキルアップとネットワ		
	ークづくりの支援をします。(R7 年度 研修会参加者全体		
	評価平均値 3.8/4)		
郷土愛と郷土への世界遺産の普及啓発等の推進を通して、郷	○児童(小学校喜学年)対象の「世界遺産『平息』出前教	○世界遺産の善及及発	
誇りを育む世界遺 土愛と郷土への誇りをもった児童の育成を		' ' '	
産の継承 目指します。	アンケート児童評価平均値 3.6/4)	日間教主(7千工列家)の矢爬(6 11 万)	
注:			
業務の効率化及び 職員の資質向上や組織的な取組体制の構	○ トリー屋の業務の効変化を図るため、東敦加理の簡素	○業務フケジュニル及び准体性につった例的なな表現	
「果物の効率化及び 職員の負負向工や組織的な取組体制の構質の向上、内部統制 築により、適正な事務処理の確保に取り組み		○業務の進捗状況に応じた相互支援の実施	
の推進ます。	〇チェック機能の強化、業務プロセスの見える化を進め、 東黎加州の海工性、添明性の変化に取り組みます。	○事未担当有と又正担当有との連携の強化	
	事務処理の適正性・透明性の確保に取り組みます。		
	○仕事と宝庭の「わけがい」心の曲がきにが完成できる。		
職員の子育てと仕 職員の子育てしやすい環境づくりと働き			
事の両立に向けた一方改革の取組により、仕事と生活の調和のと	塚珠児の美現を凶りより。 	〇超過勤務の縮減	
取組の推進 れた職場環境をつくります。		〇計画的な休暇取得	

⁽注)上記1、2については記載必要事項とし、各室課において記載事項を追加することは妨げない。(例:スローガン、現状・課題、目指す職員像、顧客の二一ズなど)